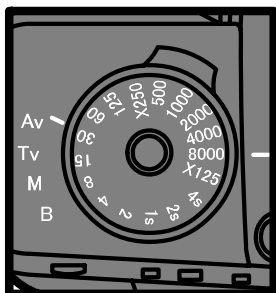
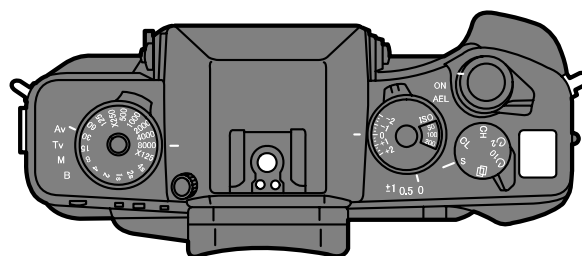
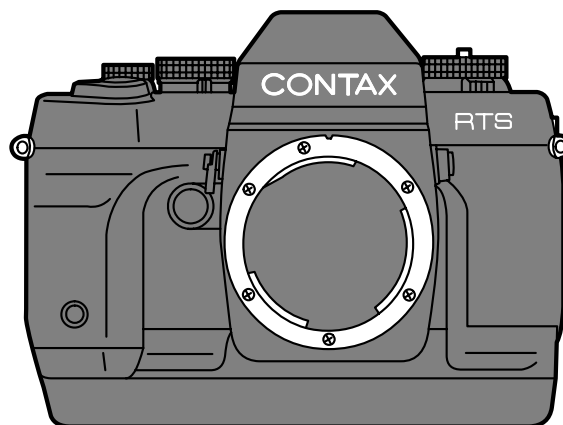


CONTAX RTS III

スペック	
シャッター	1/8000~4秒・B・X (電子シャッター)
X接点	1/250秒
測光方式	スポット測光 / 中央部重点測光
撮影モード	絞り優先 / シャッタースピード優先 / マニュアル
サイズ	156.0 × 121.0 × 66.0mm
重量	1,150g
発売年	1990年
新品価格	350,000
中古相場	110,000 ~ 150,000前後
備考	フィルムの平面性を保持する「バキューム機構」を装備。 ファインダー視野率100% ファインダー倍率0.74倍



このカメラはかなりデカイ。それだけメカニズムが詰まっていると言ってしまうまでも。

京セラのセラミック技術を生かしたフィルム圧板とRTVメカニズム。これによって、フィルムの平面性を極限まで高め、レンズの性能を限界にまで引き出している。

また、オートブラケット機能(ABC機能)がレバー操作だけで可能だというのが良い。他の機種なら、いちいち液晶画面を見ながらコツコツとセッティングしなければならないところだ。本来こういう作業というのは、撮影とは関係ない。カメラの機能というのは、できる、できない、ということよりも、いかに使いやすいかということに重点が置かれるべきだと思う。

どうでもいいことかも知れないが、他のコンタックスカメラのダイヤルが僅かに丸みを帯びているのに対し、ドイツのダイヤルはシャープな直線を持っている。それだけでも他とは扱いが違ってしまう。

しかし、いくら基本性能を充実させたからと言っても、もう少し小さくならなかったのだろうか。これでは、いくらコンタックスファンであっても、二の足を踏んでしまいそうだ。